

2025 年度 第 1 回産業医部会幹事会議事録

○開催日時：2025(R7)年 4 月 26 日（土） 9：00～11：59

○開催方法：Web 会議（ZOOM）

○出欠状況一覧(敬称略)：

新任幹事)

- ・出席(28/31)：北海道(原、羽賀)、東北(各務)、関東(飯田、伊東、大橋、宮本、山瀧)、北陸・甲信越(塚原、西澤)、東海(石川、遠田、西)、近畿(濱田、深井、森口)、中国(真鍋、塩田)、四国(斎藤、杉原)、九州(池上、大神、黒崎、成田)、担当理事(西田)、監事(深澤、中西)
- ・欠席(3/31)：東北(竹澤)、関東(加藤、福本)、近畿(岩根)

旧幹事)

- ・出席：関東(谷山先生)、九州(小田原先生)
- ・欠席：東北(菅原先生)

0. 部会長挨拶

- ・幹事会開催にあたり、部会長選挙結果の公表前に、宮本部会長から前回幹事会の振り返り（時間を意識した議事進行のあり方の模索等々）を含め一言挨拶がなされた。
- ・池上先生から部会長選挙結果が画面で共有され、宮本先生が再任された。
- ・再任された宮本部会長より、新たな 2 年間の役割分担や産業医部会運営の向かう方向性含めた検討の必要性を含めた挨拶がなされた。
- ・旧幹事（谷山先生、小田原先生）、新任幹事（伊東幹事、成田幹事）からご挨拶がなされた。

1. 審議事項

①前回幹事会議事録の確認【資料 1】

石川

- ・事前資料に基づき本日のアジェンダ、本日及び次回出席状況(特に 5/15 の出欠に関しては弁当手配の絡みもあるので、変更があれば 4/30 までにはご連絡を頂きたい旨の補足)、前回議事録の確認の説明がなされた。修正事項があれば 1 週間以内に連絡して頂きたい旨と、それを受けて確定とする流れについて報告された。

②2024 年度事業報告について【資料 2】

石川

- ・事前資料に基づき 2024 年度事業報告の説明がなされ、修正事項があれば 1 週間以内に連絡して頂きたい旨が報告された。

③2024 年度会計報告・会計監査報告について【資料 3】

深井、深澤、中西

- ・事前資料に基づき 2024 年度の会計、監査の流れの報告がなされ、2024 年度決算の詳細(会員増に伴う収入増、A コース新設に関する支出増、P コースの支出減、正味残高(内部留保が増え過ぎないよう支出を増やせる見込み(約 20 万程度)である事)等々)が報告され、中西監事、深澤監事より監査結果についての追加コメントがなされた。

・森口副部長から予算執行状況と内部留保状況の推移も睨みながら本日の議論も踏まえつつ今後のお金の使い方等々を検討する旨についてのコメントがなされた。

④2025 年度プロフェッショナルコースについて

加藤、山瀧

・山瀧幹事から口頭で、今後幹事の引継ぎを検討してく流れである事、委員長が菅野先生となった事、実行委員会の開催状況(3/18、4/26)と研修会内容の検討状況(ジョブクラフティング-孤独、軽労 働化の進め方-人間工学、組織開発-活動の評価、化学物質-保護具)の共有がなされ、「孤独とジョブクラフティング」の方向ですすめていくことになっており、講師としては現時点では江口先生、佐々木先生、島津先生を候補としている旨の説明がなされた。

・森口副部長より会の開催のあり方(学会ではオンデマンドをちょっと残して満足度を上げるがPコースでは対面討議を重視、等々)についての質疑がなされ、対面を中心に検討している旨の説明がなされた。

⑤産業医アソシエイト (Associate) コース：A コース【資料4】

深井

・事前資料に基づき前回幹事会以降の開催準備状況(参加者の応募状況(32名/定員36名予定)、Hpを通じた広報状況)や内規(案)および企画運営委員会と実行委員会や顧問の構成員選定上の懸念事項について説明がなされた。

・石川副部長より委員(役員)の選任期間(1年で交代)についての質問がなされ、企画運営委員は3年、実行委員は今後新しく構成員に入る方は4年を念頭に検討している旨の説明がなされた。

⑥専門医制度(社会医学系、日本産業衛生学会)について

大神

・日本産業衛生学会専門医制度委員会の委員変更(彌富専門制度委員長、口頭試験部会長は杉原先生、筆記試験部会長は神田先生等々)や試験の在り方の変更の検討状況、専門医制度をめぐる憂慮すべき動き等々についての報告がなされ、社会医学系専門医制度の動き(臨床医の専門医制度のアライアンス状況、関連団体の構成変更)、日本専門医制度機構の必須講習の再検討の動き(3つ→8つ)、専門医試験実施状況について口頭で説明がなされた。

・社会医学系専門医制度や日本産業衛生学会専門医制度の動きを踏まえた産業医部会への新規入会への導き方に関しての意見交換がなされ、会員総数に占める医師の数に対する産業医部会数の推移の把握のあり方の現状認識や産業医部会が専門医の会のように誤解を受けてしまっている懸念、新たに開始する事となったアソシエイトコースとの絡み等々についての認識の交換がなされた。

⑦医部会報、著作権対応について(編集委員会)【資料5】

原

・事前資料に基づき部会報発行状況、部会報担当幹事の先生方へのお願い事項についての説明がなされ、部会報投稿記事に関する著作権の対応状況について前回幹事会以降の検討内容の概要(①著作権は明確に規定しておく必要がある、②校正前後ではなく一括規程が現実的、③著者との間で取り交わしておく必要性、が学会顧問弁護士から示された見解も含めた検討課題)が示され、依頼状と執筆要項の検討結果の説明がなされ、意見交換を行ったうえで確定された。

⑧ポスター発表優秀賞選考と表彰方法について

西澤

・今回の全国協議会の選考方針について、ポスター発表優秀賞選考の準備と手順は変えず、前回までは1演題であったところを2演題の選出とする方針である事の報告がなされた。

⑨学会ホームページ、部会ホームページ、ML、学会のメルマガについて 黒崎

・部会長選挙の結果を受け、宮本部会長、森口副部会長、石川副部会長、大橋副部会長の新体制、部会員数等々について掲載する方針について口頭確認がなされた。

・産業医部会 ML の受診状況に関する課題について報告がなされ、企業系アドレスではスパムメール対策で弾かれてしまう懸念があるので企業系アドレスを一つだけ登録している場合には企業系以外のメルアドをもう一つ登録して頂くという運営としたい旨の意味と意義が説明され質疑応答がなされた。

⑩第98回学会（仙台）部会長賞選考方法について 宮本・遠田

・選考経過と選考結果について口頭で概要説明があり、選考協力への感謝の旨と選考のあり方の懸念事項とその対応、今回の選考過程を一定期間幹事会で共有する事の説明がなされた。

⑪第35回全国協議会（徳島）自由集会について 斎藤、杉原

・準備状況（日程予定、企画概要）について杉原幹事から口頭説明がなされた。

⑫役割分担表について 宮本

・宮本部会長より改選後の新任幹事陣容を踏まえたうえでの最新版に改訂したバージョンの業務担当案について画面提示がなされ、各幹事の業務担当案についての方向性（考え方：◎、○、△、緑枠、赤枠、黄色枠）について説明がなされ、現幹事の担当状況及び負担感に関する認識の擦り合わせがなされた。第2回幹事会でも再確認することとなった。

⑬次回幹事会の日程について 石川・塩田

・事前調整の結果を踏まえ、以下の通り日程が確定された。5/15の幹事会の際の弁当の締め切りが4/30までである事の案内と早めにご連絡頂きたい旨の説明がなされた。

○2025年度 第2回産業医部会幹事会

日時：2025(R7)年5月15日(木) 12:30~13:30

場所：仙台国際センター展示棟 1F 会議室 4A(第98回日本産業衛生学会会場)

・第3回幹事会について、10/11(土) 9:00~とする旨の認識共有が図られた。

・11/27に第4回産業医部会幹事会を兼ねた産業医部会懇親会(会場は斎藤幹事、杉原幹事で確保、段取りは(幹事)：深井幹事、塩田幹事が担当)を予定する旨の認識共有が図られた。

2. 報告事項 (10:40~11:50)

①第98回学会（仙台）準備報告 各務

②第98回学会（仙台）の医部会フォーラムについて //

・各務幹事から開催準備状況（参加証、会場の運営状況(懇親会含む)、懇親会参加者枠の追加募集状況、日本医師会認定産業医研修会のMAMIS対応等々）がなされた。

- ・石川副部長より MAMIS の QR コードの運用対応等々についての質疑応答がなされた。
- ・宮本部長より社会医学系について質疑応答がなされた。

③第 35 回全国協議会の準備状況について

斎藤・杉原

- ・斎藤幹事より口頭で前回幹事会以降の準備状況について報告がなされた、杉原幹事より 5 月以降に参加登録を始める予定である旨と全日程構成(3 日間)の概況等々について補足説明があり、ポスターのコアタイムを 2 回に分けて運営する方針で進めている事の説明とポスター発表優秀賞の選考への影響についての質疑応答がなされた。

④第 99 回学会(近畿地方会)について

森口・岩根

- ・森口副部長より前回幹事会以降の進展状況について口頭で開催準備状況の報告(開催日程、タイトルを倫理綱領に合わせて変更した点、学会事務局構成の準備状況等々)がなされた。

⑤第 36 回全国協議会(中国地方会)の準備状況について

真鍋・塩田

- ・真鍋先生より口頭で開催準備状況(日程:2026(R8)年 11 月 5 日から 11 月 7 日、事務局体制、実地研修の準備状況等々)の報告がなされた。

⑥第 100 回学会(九州地方会)について

大神・池上

- ・大神幹事より口頭で開催準備状況(5 月幹事会で具体的に検討が始まる旨)の報告がなされた。
- ・宮本部長より 100 回が九州で、100 周年は第 102 回の東海(2029 年)、2028 年は関東で開催、全国協議会は中国の次は青森で、その次が近畿となる流れである事の認識共有がなされ、100 周年に向けたリレー企画等々が進められていく旨の説明がなされた。

⑦各種委員会報告(生涯教育、政策法制度、学術、ダイバーシティ、広報) 担当幹事

- ・遠田幹事より生涯教育委員会でのベスト GPS 賞、GPS 奨励賞の選考結果と第 98 回学会(仙台)の表彰、第 98 回学会(仙台)のシンポジウム準備状況が口頭でなされた。
- ・森口副部長より政策法制度委員会開催状況と学術委員会についての検討内容(小規模事業所の産業保健への提言、AMED 研究事業、産業研究の枠組みの拡大、研究者支援等々)の報告が口頭でなされた
- ・大橋幹事よりダイバーシティ委員会の対応の現状(5 月のフォーラム、7 月にオンラインセミナーを開催等々)について口頭報告がなされた。
- ・黒崎幹事より広報委員会についての活動概要について口頭報告がなされた。

⑧各担当幹事報告

各幹事

- ・西澤幹事より、第 98 回学会(仙台)において開催準備中の倫理綱領の改定に関連した「産業衛生専門職の実務や研究における倫理的葛藤について考える」シンポジウムの準備に絡む話として、西澤幹事が産業医の立場で登壇予定であるが、産業医として「あるある」的な事例を提示しようと思い準備をすすめているものの、つまるところ、じゃあその「倫理的葛藤を皆さんはどのように消化しているのか」、というところで大きな壁にぶち当たっており、医部会幹事会の先生方に「個人で感じている倫理的葛藤をどのように解決/解消しているか」ということについて幹事会の ML

にてアンケートをとらせていただきたい旨の説明がなされ、実施される事で了承された。

⑨理事会報告【資料 6】

西田

- ・ 事前資料に基づき理事会での審議報告事項についての報告がなされた。

(2025/3/24 現在、正会員 9086 人、産業医部会 1988 人)

⑩四部会長会議報告

宮本

- ・ 宮本部会長より 4 部長会議(産業医部会、産業保健看護部会、産業衛生技術部会、産業歯科保健部会)の活動概要(産業衛生技術部会長が橋本先生から中原先生に交代となった事、第 35 回全国協議会の四部会合同シンポジウムの構成概要、第 37 回が青森、第 38 回が近畿、その先が北海道で全国協議会と日本産業衛生学会が被ってしまうので調整が必要となっている事、各部会の活動についての意見交換状況等々)について口頭で現状報告がなされた。

- ・ 大阪万博に合わせて ICOH の活動がなされる旨の情報提供が宮本部会長、森口副部長よりなされた。

⑪各地方会活動報告

各幹事

- ・ 各地方会からの現状報告（各地方会開催時期や開催概要）がなされた。

(北海道(原)、東北(各務)、関東(福本(大橋(代理)))、北陸・甲信越(塚原)、東海(石川)、近畿(岩根(森口・西田(代理)))、中国(真鍋)、四国(杉原)、九州(池上))

⑫その他

石川・塩田

- ・ MAMIS の件についての注意事項等について紹介

(https://www.sanei.or.jp/member/e_conference/list/thread_detail.html?conference_thread_id=139)

- ・ 森口副部長より倫理綱領の絡みについてパブリックコメントで頂いたご意見についての紹介がなされた。

以上